

『土とのふれあいと、ふるさとの香りにつつまれたまち』

- 湖北地区は、湖北駅を挟み南北で地区の様相が異なり、北側には古くからの農地や既存の集落地があり、南側には大規模な面整備により公園や街路樹などの緑が整えられた住宅地が広がっています。
- 平成16年には、手賀沼や利根川と並んで我孫子市の貴重な水辺空間である古利根沼を、「オオバンあびこ市民債」などを活用して取得し、沼とその周辺の自然環境を保全する取り組みが市民と協働で進められています。

<人のつながりを深めるまちづくり>

- 地区の北側では、近隣センターが未整備であるものの、自治会や区などによる自主的なまちづくり活動が活発に行われています。
- 一方、1970年（昭和45年）頃から住宅地が形成された湖北台地区では、地元商業の活性化に向けた活動や自主防災活動、小住区での地域ボランティア組織の活動など、住民と地元商店街、地区社会福祉協議会、まちづくり協議会が連携したコミュニティ活動が盛んに行われています。
- また、子育て世代間の交流を促進するため、子育て支援施設「わくわく広場」を運営するとともに、市民団体による子育てサークル・サロンの活動が展開されています。湖北台東小と湖北台西小では、地域住民との連携によりあびっ子クラブが運営されています。
- さらに、湖北地区公民館や湖北小を会場に、子どもたちがさまざまな遊びを体験できる「げんきフェスタ」が開催されているほか、湖北台中学校区と湖北中学校区では、総合型地域スポーツクラブ「湖北はつらつクラブ」と「湖北悠遊クラブ」が結成されており、イベントやスポーツを通して地域の人々の交流が盛んに行われています。
- 今後は、多様な主体により地区の南北で活発に行われている活動を通して、連携・交流が深められるよう支援していきます。また、湖北小での子どもの居場所（あびっ子クラブ）の開設に取り組み、地域で子どもを育てる環境づくりを進めます。

【地区の主な施策展開】

■ コミュニティ活動への支援と地区住民の交流促進

- 地区の北側での近隣センターの整備とまちづくり協議会設立の検討
- 図書館の整備
- 地域と子どもの居場所との連携・交流の推進（湖北台東小・湖北台西小あびっ子クラブの運営と湖北小への新規設置）
- 地域会議の設置
- 子育て世代間の交流の促進

<地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり>

- この地区には、利根川・古利根沼の水辺や連続性のある斜面林、岡発戸・都部の谷津などの豊かな自然環境が地区を囲むように形成されており、自然環境の保全に向けた取り組みが市民と協働で進められています。
- 中峠地区では農家開設型の体験農園が設置されており、中里や都部、日秀地区では梨の栽培や観光農園などが展開されています。
- また、この地区では、地域農業の新たな担い手となる新規就農者の営農も活発に行われています。
- さらに、県の指定文化財である相馬郡衛正倉跡（そうまぐんがしょうそうあと）、日秀観音や将門神社などの平将門に由来する歴史的遺産が数多くあるほか、郷土芸能の保存・伝承活動が学校と連携して行われています。
- 湖北駅の南口では、空き店舗活用制度を利用した新規出店が増えています。
- また、商店街の空き店舗を活用してお休み処が開設され、高齢者が気軽に集える場として利用されています。
- 湖北駅の北口では、駅前広場の整備により民間路線バスが乗り入れを開始し交通アクセスが向上したほか、地域の活性化につなげるため、近隣の農家や商業者が出店する「湖北の市」が開催されています。
- 今後も、地区の貴重な自然環境を市民と連携しながら保全し、親しめる環境づくりを進めるとともに、地区の歴史的遺産や郷土芸能を地域づくりに活用できるよう支援していきます。

【地区の主な施策展開】

■ 自然環境の保全と活用

- 谷津ミュージアム事業の推進による自然環境の保全と活用
- 古利根沼と周辺の自然環境の保全と活用
- 古利根公園の整備
- 利根川ゆうゆう公園の活用
- 農業の担い手の育成と農地の有効活用

■ 歴史的資源の保存と活用

- 郷土芸能の保存と後継者育成への支援
- 歴史的・文化的遺産の保存・活用

■ 地区住民のくらしを支える買い物環境の充実

- 空き店舗の有効活用

<安全で快適なくらしを支えるまちづくり>

- J R 成田線は、我孫子駅へ約 8 分で連絡する重要な公共交通ですが、単線で運行本数が少なく、輸送力の強化や利便性の向上が求められています。
- 一方、道路は都市計画道路の未整備区間の整備や湖北駅から利根川周辺施設へのアクセスの向上が課題となっています。
- また、一部の地域を除いて公共下水道などの都市基盤の整備が不十分な面もあります。
- 地区の北側では、古利根沼周辺と、屋敷林や生垣、高垣などが多く残る中里通りや成田街道（国道 356 号）沿いなどの緑が多いふるさとを感じさせるまち並みが形成されています。
- 地区の南側には保健センターと休日診療所が立地し、日曜や祝日でも初期的な診療を受けることができます。湖北地区・湖北台地区の高齢者なんでも相談室では、介護・福祉・健康・医療などに関する相談・支援を行い、地区の高齢者を総合的に支えています。
- 利根川沿いにはクリーンセンターがあり、ごみの焼却や資源化が行われています。
- 今後も、地区の交通の利便性や住環境を向上させるため、J R 成田線の輸送力の強化や利便性の向上に向けた働きかけを行います。また、都市計画道路や公共下水道の計画的な整備などに取り組むとともに、新たな廃棄物処理施設の整備を進めていきます。

【地区の主な施策展開】

■ 交通利便性の向上と、誰もが快適に移動できる環境づくり

- J R 成田線の輸送力の強化と利便性の向上

■ 安全で快適に生活できる都市基盤整備の推進

- 湖北駅北口地区などでの計画的な下水道整備の推進
- 老朽化した公共施設の整備
- 新たな廃棄物処理施設の整備
- 都市計画道路根戸新田・布佐下線の整備促進
- 都市計画道路下ヶ戸・中里線、青山・日秀線の整備